令和元年度(2019年度)行政評価シート【個表】 令和元年7月5日

評価対象事業				評価者	こどもき	支援課担当課長	谷川	宏
> ₩ _02	実施事業	地域子育て支援拠点事業		自治事務	主管課	こども支援課		
こども-03	まち・ひと・しごと	地域丁月(又接拠点事業		法定受託事務	関連課	こども相談課		
総合計画上の	分野	子育て		施策の方針	すべての子	育て家庭への支援		

1 事業の目的

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

子育て家庭等

子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子 义 育て環境をつくるため。

子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目

・子育て中の親子に対し身近に集える場を提供し、親子同士が気軽に交流できるようにした。

3 事業費等基礎データ

一人	データ区分	29年度(2017年度)決算	30年度(2018年度)決算	データ区分	01年度(2019年度)当初予算	備考
デヘー	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	•各年3月31日
タロ等の	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯	(住民基本台帳)
70	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	2,833	2,946	当初予算(千円)	2,557	
運	国県支出金	1,356	1988	国県支出金	1,356	
営資源	地方債			地方債		
垣	その他			その他		
状	一般財源	1,477	958	一般財源	1,201	
況	人員配置数	1.5	1.5	人員配置数	1.5	
	人 件 費(千円)	11,570	11,514	人 件 費(千円)	11,658	
事	総事業費(千円)	14,403	14,460	総事業費(千円)	14,215	
経業費運	市民1人当りの 経費(円)	82	82	市民1人当りの 経費(円)	81	
営	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

※「効素性」「変異性」「右効性」「公束性」「均衡」については、プログウンで選択

4	<u> </u>	千1四	桁米		※「効率性」「安当性」「有効性」「公平性」「協働」」こういては、ブルダリンで選択。						
糼	率		事業費に削減余地はないか		2. ない						
נעג	#	Ιエ	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない						
			事業の実施に対する市民ニーズはある	るか	3. 変わらずにある						
妥 当 性	性	事業の廃止・休止による市民生活への影	/響は大きいか	か 3. 廃止・休止による影響は大きくある							
			今後も市が実施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある						
右	効	性	事業の成果は得られているか		3. 十分な成果が出ている						
Ή	נעג	Ιエ	事業の上位施策に向けた貢献度は大	きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している						
公	平	性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである						
					△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない						
協	協働	働	市民等と協働して事業を展開しているな	△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー						
					加助人心の多古のバーク						
			■ a:事業内容を見直す ⇒	見 広大							
	事業]容(□ b:事業内容は現状通りとする	<mark>種直</mark> 類し □ 縮小	引						
	向性		□ c:事業を休止又は廃止する	の ■ その	の他子事業の中で継続する予定である。						
			□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	:する =	事業へ統合						
-	予算	-	□ A:予算規模を拡大する	事業内容•予	** 七里ガ浜つどいの広場については、放課後かまくらっ子の開設に伴い終了する						
規	模(カ	□ B:予算規模は現状維持とする	算規模の方向	向 が、腰越地域においては子育て支援センター未設置のため、腰越つどいの広場は						
万	方向性	■ C:予算規模を縮小する	性設定の理由	継続して実施する。							
á	総評	<u>i</u>	各地域に1ヵ所の子育て支援センター(の整備を目指し	しているが、現時点で設置のない腰越地域においては、腰越行政センター及び七里						
	平価				一育て中の親子に対して身近に集える場所を提供し、親子同士が交流できるようにする						

対する ためにも、継続してつどいの広場を運営していく必要がある。七里ガ浜子ども会館においては今年度10月より指定管理制度を導入した、 考え方、「放課後かまくらっ子」の実施に伴い、つどいの広場は9月末で終了するが、乳幼児親子の居場所については、放課後かまくらっ子事業 収拠等) の中で継続する予定である。

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっ ての課題 (前年度未解決の事項を含む)	っ っどいの広場で実施している子育て等についての相談業務について、受託者と密に連絡をとる必要がある。							
課題解決のために行っ た平成30年度 (2018年度)の取組	相談業務についての内容報告書(日誌)を元に、関係各課への連絡や引継ぎを行っている。	□ 解決■ 一部解決□ 未解決						
未解決の課題、新たな 課題とその理由	更なる相談業務の充実のためにも、より連携を強化した連絡体制の構築が必要である。							
〇 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)								

比較事項	交流広場・子育てサロン等事業(つどいの広場)実施状況										
団体名	鎌倉市	鎌倉市 藤沢市 茅ヶ崎市 横浜市 川崎市 横須賀市 葉山町 逗子市 三浦市									
他市実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
他叩天根											

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方

交流広場・子育てサロン等の事業は多くの市町村が実施しているが、手法や開催時間、開催場所等については様々である。本市においても、開催場所や人員等の条件を踏まえた上で、有効な手法を検討していく必要がある。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	子育て支援センター		単 位	地域	指標傾向		\Rightarrow	備考				
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017) H30(2018)		(8)	R01(2019)			
各地域においてサービスの平等 性を担保するため。		目標値	1.0	1.0	1.0	1.0		1.0				
		実績値	1.0	1.0	1.0	1.0		1.0				
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.09	%	100.09	%			

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方

腰越つどいの広場については、引き続き、親子同士が気軽に交流できる場としての利用率向上を目指して事業を実施していく。